

第37回

いけばな展

令和5年

7月15日(土)・16日(日)・17日(月・祝)

祇園石段下から四条烏丸

祇園祭の京に、

一服のやすらぎ。

各流派のいけばな28作品、

一堂に集り。

京都では祇園祭ひょうぎに「檜扇」をいける伝統が

あります。「檜扇」はアヤメ科の植物で、

夏に色鮮やかなオレンジや黄色の花を咲

かせます。良質な「檜扇」が京都府北部の

宮津市で生産されています。剣状の葉が

重なり合って左右に広がっている形状が

「扇」に似ていることから「檜扇」の名前が

あるようです。古代、「檜扇」には害虫を

払い五穀豊穡をもたらすといった、災厄

を除く故事が見られるようで、いつの頃

からか、疫病を鎮めるために始まった祇

園祭の時期に「檜扇」を飾る習慣が根付い

たと考えられます。現在も京都の町には、

この時期「檜扇」がいけられ、軒先を

彩っています。このような伝統から、祇

園祭のこの時期にいけばな展を開催して

います。

参加各流派・ご担当先生

とうざんみしゅうりゅう	1	東山末生流 本多栄甫 (ほんだ えいほ)	TEL.075-451-8327
西陣の地にある慧光山総本山本隆寺三〇世日東上人を流祖と仰ぎその中から取った「東」と「山」から東山末生流と称し江戸時代後期創流。末生流の流れをくみ華道を通じた人格形成と精神鍛錬を掲げ正華盛花投入意匠花等古典を軸に現代いけばなをも探求している。			
いっこうりゅう	2	一光流 梅田一茜 (うめだ いっせん)	TEL.0743-59-2063
四季折々の草・木・花の美を真剣に見つめ、どのような場所に飾っても調和する様、たえず研鑽し続けています。また、その花たちをよく知るために一光流一筆画も提案いたしております。			
いけのぼう	3	池坊 城野眞理子 (じょうの まりこ)	TEL.075-231-4922 (一般財団法人 池坊華道会)
華道家元池坊は、聖徳太子が創建した紫雲山頂法寺(六角堂)から始まり、初代住職の小野妹子から数えて約1400年の歴史があります。花をいけること。花を美しいと感じること。それは自然を大切にし、人を想う気持ちにつながる、池坊いけばなの精神そのものです。			
こうしゅうりゅう	4	甲州流 宮本花抱 (みやもと かほう)	TEL.0774-72-0918
華道甲州流は明治三十五年正月、大和郡山城旧柳澤藩士野村静吾が聴松庵拈華一世として創設以来、第六世に相伝され大和郡山で育った華道流派であります。流名は柳澤ゆかりの甲斐守堯山公にあやかり流派名を甲州流と名付けました。「格花」[投入れ]を基本に、「自由花」[盛花]等あらゆる花に取組んでいます。			
しょうげつどうりゅう	5	松月堂古流 植松賞月 (うえまつ しょうげつ)	TEL.075-721-0515
松月堂古流のいけばなは、自然を厳しく観察することに始まり植物本来のあるべき姿を探究することにより美しく表現するよう心がけています。生花・現代花・流麗花など様々なスタイルでいけばなの美をお伝える努力をしています。			
きょうとみしゅうりゅう	6	京都末生流 松本 司 (まつもと つかさ)	TEL.075-256-1456
創流140有余年、第四世家元は、花と人の出会いを大切に、受け継がれてきた伝承を現代に生かすつつ「楽しむ花」を信条としています。一人でも多くの人とその楽しさを分かち合いたいと思っています。			
こまつりゅう	7	小松流 中村展山 (なかむら てんざん)	TEL.075-464-3877
昭和初期に流祖竹風斎展山が、京都市にある衣笠山を愛した事から、麓にある小松原に庵を起し、その地名をとって小松流として創流。自然花材を素材として、伸び伸びと咲く花の姿を優雅に、四季折々に色彩豊かに表現する。			
みしゅうりゅうなかやまぶんばい	8	末生流中山文甫会 五十楼尚甫 (いそずみ ひさほ)	TEL.075-921-8756
末生流二〇〇年の歴史がある「格花」や、現代生活に合った多様な花型の「新花」があります。好きな花や、葉・枝・器をどう選ぶかで、個性が表現されます。常に「新しいことに挑戦する精神」を持った流派です。			
そうげつりゅう	9	草月流 花崎陽文 (はなぎさ ようぶん)	TEL.075-313-7880
草月流は、「いつでも どこでも 何ででも活ける」事を理念にしています。その理念の元に、様々な場面での作品を植物や異質素材を使って展開致します。			

とうふくじみしゅうりゅう	10	東福寺末生流 井田益甫 (いだ ますほ)	TEL.075-572-2882
京都東山にある東福寺を家元として、京都・大阪・兵庫に支部をおき活動しています。「華禅一味」を流の心としての「古典花」、時代の新風を取り入れた「現代花」を中心にあらゆる表現を探求している流派です。			

きょうふうりゅう	11	いけばな京楓流 小嶋範彦 (こじま のりひこ)	TEL.075-612-7728
花祖は禁裏御所御用の折、楓(かえで)を掛けて号を賜ったと伝わる。先代家元・小嶋京楓が1975年に流派として確立。古典から現代花まで、おおらかに、その場の風情や空気に応じて活ける「今様いけばな」の在り方を追求しています。 URL http://www.kyoufuu.com/			

おむろりゅう	12	御室流 野々田美水 (ののだ みすい)	TEL.075-463-1095
世界文化遺産仁和寺が家元で、開山宇多法皇を流祖としています。仁和寺は中世より芸芸練達者に称号を授与し近世その称号を持つ華道家が集い御室流となりました。古典技法の伝承と自由ないけばな表現の道を開き、豊かな感性の涵養といけばなを求める心を伝えています。			

ほそかわみしゅうりゅう	13	細川末生流 岡本陽甫 (おかもと ようほ)	TEL.075-231-0701
創流は文化・天保年間に遡るが、口伝として伝承を続けた精神・技法を細川末生流として十九世紀末に発表。当流では、生花を基本に、投げ入れ、盛花、またお茶花など、現代の生活文化に根ざしたいいけばなを提案している。			

せんけいりゅう	14	専慶流 西阪保則 (にしさか やすのり)	TEL.075-611-0814
江戸時代元禄、京都で流祖雷春軒仙溪によって創始される。伝承された端正なかたちに新しい作風と感性を求め、豊かな気品をたくわえてきました。四季の植物を通じて、絶えず心のやすらぎと個性的なひろがり専慶流は求めています。			

さざごりゅう	15	嵯峨御流 辻井ミカ (つじい みか)	TEL.075-871-0071
平安時代、嵯峨天皇が大覚寺大沢池の菊ガ島で手折られた菊を挿花され、「後世花を生くるものは宜しく之を以て範とすべし」と仰せになられたことが源となり、嵯峨天皇の自然といのちを愛する大御心を伝えている大覚寺に華道総司所をおく流派です。			

おほらりゅう	16 21	小原流 赤尾牧子 (あかお まきこ)	TEL.090-8236-2901
西洋文明の入って来た明治、彫刻家でもあった初代小原雲心が水盤に花を飾る“盛花”を創案。現五世宏貴家元は、瓶花・文人調・琳派調・花舞・花意匠等を追求。現代空間にふさわしいいけばな花奏(はなかなで)を創案。			

みやこみしゅうりゅう	17	都末生流 大津光章 (おおつ こうしょう)	TEL.075-761-8166
知恩院華頂宮の指南役、藤木月亭光信により天保6年京都にて起る。昭和24年各種学校都華道専門学院を設立、「いけばな文化」を中心に「いのち」をキーワードにした、花の文化集団を目指しています。			

くさかべりゅう	18	日下部流 日下部 一如 (くさかべ いちにょ)	TEL.090-8195-6531
1966年創流。型にとらわれず、自然の枝振りに応じて自由に生けられる「真華」を創始した。人間が本来持っている感性を生かす花、老若男女を問わず、いつでも、どこでも、誰でもが自由に楽しめる花を目指す。			

みしゅうりゅう	19	末生流 北尾登志甫 (きたお としほ)	TEL.075-311-1476
末生流は末生畜一甫によって、1800年のはじめに創流されました。いけばなの本質は社会や生活環境が変化しても変わらないものです。流名「末生」が示すように無限の可能性を秘めて日々清新なものを生むよう努力しています。流祖はいけばなを通して人としての有るべき姿を論されています。			

ほうふうえんしゅうりゅう	20	峰風遠洲流 平尾熙峰 (ひらお きほう)	TEL.06-6621-1623
小堀遠州公の流れを頂き節ゆかりの地近江に大正12年創流。流祖口伝の挿花を基礎とし、古典花から自由花に至る迄「真・善・美」を追求。伝統を重んじつつ時流にあったいけばなに取り組んでいます。			

きょうかでん	22	いけばな京花傳 手嶋敏和 (てしま としかず)	TEL.075-354-6380
いけばなを通じて情操教育の醸成と「暮らし花を　心に潤いを」をテーマに現代に生きるいけばなを本質に活動をしています。京の伝統と雅を重んじながら、新しい感覚を取り入れるいけばなを目指しています。			

きどうみしゅうりゅう	23	喜堂末生流 杉崎翠山 (すぎさき すいざん)	TEL.075-711-2255
自然の法則に基づき植物の生い立ちを学び、末生の清心を受け継ぎ伝統ある花形から現代的な自由花にいたるまでを基本花形に基づき、合法的に生花の心髄を極め美しい調和が生まれ、親しみのある流儀であります。			

かどうほんのうじ	24	華道本館生 中野天心 (なかの てんしん)	TEL.075-222-1232
立華創成期の名手 大庄院以信を流祖と仰ぐ。陰陽思想を駆使し、classic&modernをミニマリズムに表現する。今を生きる花を。			

えんしゅう	25 26	遠州 芦田一春 (あしだ いっしゅん)	TEL.077-575-4488
小堀遠州を流祖とし、1812(文化9)年初世貞松齋一馬が「衣の香」口伝抄を刊行、流を確立、発展させた。現代に伝わる伝統流派の一つであり、その美しい曲線美は日本のいけばなの代表的なものです。			

つきのわみしゅうりゅう	27	月輪末生流 平林朋宗 (ひらばやし ともそう)	TEL.075-531-7676
昭和初期の創流。東山の月輪山にある皇室の菩提所、泉涌寺靈明殿への献花に始まり、古典花をはじめ、現代感覚の盛花、投げ入れ花、自由花などがあり、品性あふれる、優雅な精神に基づいたいけばなを追求する。			

らくようみしゅうりゅう	28	洛陽末生流 山中 樹 (やまなか みき)	TEL.075-862-7786
明治36年創流。昭和末期より花形を理論的に系統化、平成以降は新たな視覚表現による現代花や小品花等、私たちの今生きる、その「時」人の「心」を大切に、いけばなを追求しています。			

くわはらせんけいりゅう	桑原専慶流 桑原仙溪 (くわはら せんけい)	TEL.075-221-2950
野に咲く花のあるがままの美しさを器にうつしとりたいという気持ちから桑原専慶流のいけばなが生まれました。三百数十年の歴史の中で、理知的な気風に品格がそなわり、花の姿を優雅に表現します。		

みしゅうりゅうさきおか	未生流笹岡 笹岡隆甫 (さきおかりゅうほ)	TEL.075-781-8023
1919年、笹岡竹甫が創流。花の設計図にあたる寸法表を用いた理論的な教授方法により「理論派の華道」。また、かきつばたを流花とすることから「かきつばたの笹岡」とも呼ばれる。 www.kadou.net		

こうふうりゅう	香風流 村田香風 (むらた こうふう)	TEL.075-461-6822
1931(昭和6)年創流。自然体を中心に簡素の美を基調とした、自由で創造性豊かないけばなをめざす。限られた空間に、景色をいけばなで表現する盆景花が流儀花。ほかに盛花・投入花・生花・飾花の花型がある。		

いけばな展示店一覧

祇園商店街・北側		
1	家傳京鈴・茶房 祇園小石	TEL.075-531-0331
[営業時間] 10:30～18:00		
2	かんだし・椿油 かづら清老舗	TEL.075-561-0672
[営業時間] 10:00～18:00(予定)		
3	薫香・線香・念珠 豊田愛山堂	TEL.075-551-2221
[営業時間] 10:00～18:00		
4	化粧小物 よーじや 祇園本店	TEL.075-541-0177
[営業時間] 10:30～19:00		
5	和菓子・茶房 鍵善良房	TEL.075-561-1818
[営業時間] 9:30～18:00		
6	京つけもの 京つけもの大安	TEL.075-531-7758
[営業時間] 10:30～19:00		
7	呉服・細貨 むら田	TEL.075-551-3456
[営業時間] 11:00～18:00		
8	手拭 永楽屋細辻伊兵衛商店 祇園店	TEL.075-532-1125
[営業時間] 11:00～22:00		
9	和装小物 井澤屋	TEL.075-525-0130
[営業時間] 10:30～19:00		
10	レストラン レストラン菊水	TEL.075-561-1001
[営業時間] 10:00～22:00		

四条繁栄会・北側		
11	創作園履物 伊と忠	TEL.075-221-0308
[営業時間] 11:00～19:00		
12	京ごぶく 糸り善	TEL.075-221-1618
[営業時間] 10:00～18:00		
13	京料理 四条 御旅町 田ざと	TEL.075-221-1811
[営業時間] 11:30～21:00		
14	茶道具・漆器 龍善堂	TEL.075-221-2677
[営業時間] 11:00～18:00		
15	つけ櫛 十三や	TEL.075-211-0498
[営業時間] 10:30～19:30		

16	甘栗 林万昌堂	TEL.075-221-0258
[営業時間] 10:00～19:00		
17	布地販売 ノムラテラー	TEL.075-221-4679
[営業時間] 10:00～19:00		
18	京人形 田中彌	TEL.075-221-1959
[営業時間] 10:00～18:00		
19	大丸京都店	TEL.075-211-8111
[営業時間] 10:00～20:00		

四条繁栄会・南側		
20	京都信用金庫本店	TEL.075-211-2111
開催中は窓口は休業していますが作品はご覧いただけます		
21	化粧品 cosmetics池善	TEL.075-343-2323
[営業時間] 10:30～19:30		
22	高島屋京都店	TEL.075-221-8811
[営業時間] 10:00～20:00		
23	袋物・小物 俵屋	TEL.075-221-2789
[営業時間] 10:00～18:00		

祇園商店街・南側		
24	京つけもの 京つけもの西利	TEL.075-541-8181
[営業時間] 11:00～18:00		
25	茶寮 茶寮都路里	TEL.075-561-2257
[営業時間] 10:30～20:00(予定)		
26	宇治茶 祇園辻利	TEL.075-551-1122
[営業時間] 10:30～20:00(予定)		
27	志ば漬の里 土井志ば漬本舗 祇園店	TEL.075-525-6116
[営業時間] 10:00～20:00		
28	京菓子 京煎堂	TEL.075-541-1141
[営業時間] 11:00～18:00(予定)		